

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375300213
事業所名	グループホーム扶桑苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	実習生の研修や地域の中学生の体験学習を毎年受け入れている。夏祭りを行うバザーでは、入居者が手作りした雑巾を地域の方に販売しており、入居者も毎年楽しみにしている。町内会に加入しており、地域との関わりを大切に、朝市では地域の方との交流を楽しんでいる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	4月から運営推進会議を開催する予定である。参加者は区長、地域包括支援センター職員、たんぽぽ授産所、入居者家族、ホームの各職員を予定しており、苑庭で地域密着型サービスの協力者として意見交換を行う準備を進めている。	×
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	スプリンクラーの取り付け工事についてや、職場環境改善のため助成制度の相談、助言を得て協力関係を築いている。グループホーム協議会に加入し、情報交換や研修に参加している。赤十字の作品展への出品は恒例になり、本人、家族の張合いになっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	年間行事計画表を家族に配布し、また、毎月グループホーム新聞を発行し郵送している。入居者から出された意見や要望については、職員間で話し合い検討している。外部評価における家族アンケートの結果からは、「気軽に訪問できる」「話をよく聞いてくれる」「柔軟に対応してくれる」と評価を得ている。	○
重点項目⑤		評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	×			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。